

相原たけの子学童保育クラブの相原小への移転について

現在、子どもセンターぱおに併設されている「相原たけの子学童保育クラブ」を、通所する児童の安全・安心を確保するため、早い時期に相原小学校校舎内に移転する件について、ご報告をいたします。

1 相原たけの子学童保育クラブの現状

2017年4月の入会者数	現施設の定数	現施設の育成室面積	1人あたり面積	障がい児
66名	93名	133.34㎡	2.31㎡	4名

相原小学校と相原たけの子学童保育クラブ（子どもセンターぱお）の距離

約260m（※資料1参照）

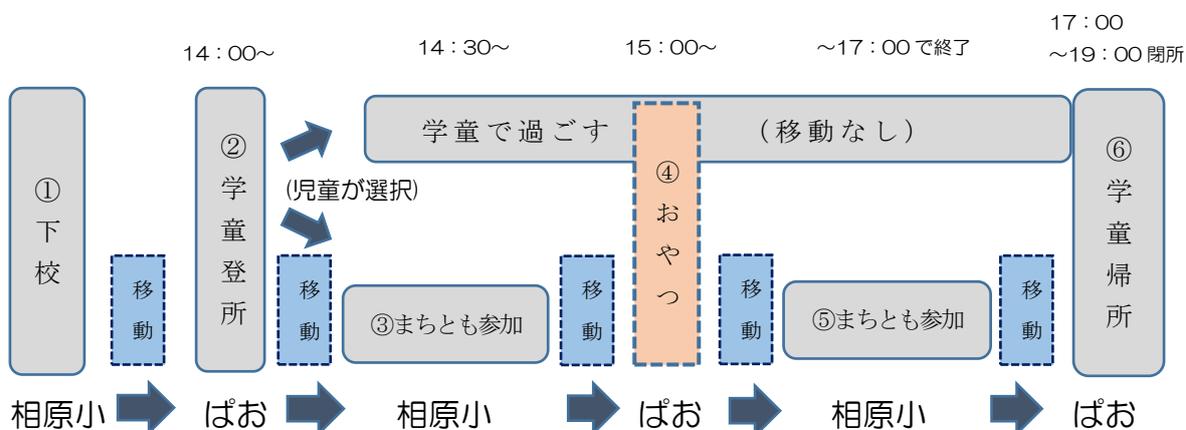
※ 2009年4月より子どもセンターぱおに併設する形で直営しています。

2 移転の目的

「新たなまちとも」との一体的運営

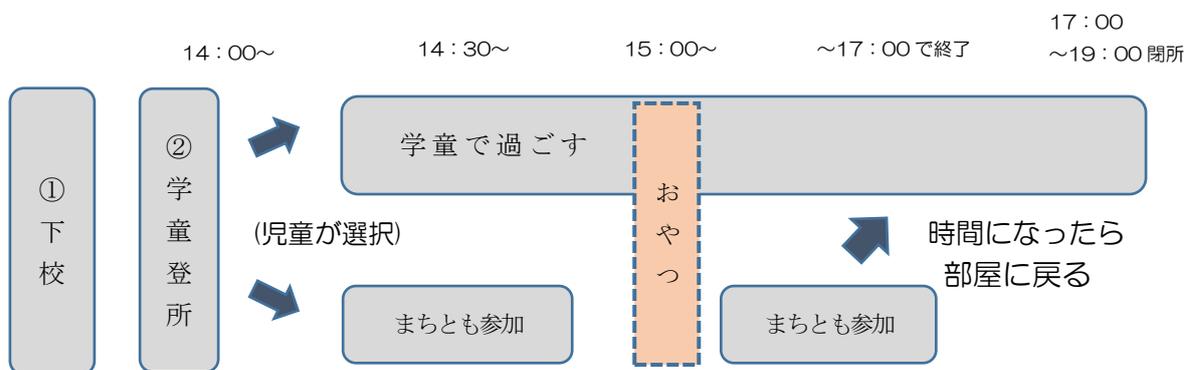
- 相原たけの子学童保育クラブを利用する児童が、新たなまちともに参加する際には、距離は近いものの学童保育クラブと学校間を往復する必要性が生じます。学童保育クラブに通う児童が新たなまちともを有効に利用し、充実した放課後を過ごせるように移動の不便を解消する必要があります。
- 冬期に、学校で新たなまちともに参加した後（17時に終了）、学童保育クラブ（19時まで開所）へ移動するには、日没後の暗い道を移動しなければなりません。移動に伴う児童・保護者の不安を解消する必要があります。

【ぱおで保育を行う場合】 施設間の移動が最大で5回発生



- ① 全学童児童は、放課後に一旦学童に登所する
- ② 登所後に、学童で過ごすか、まちともに参加するか、児童ごとに選択
- ③ まちともに参加する児童は、相原小へ行く
- ④ 15時におやつのため、一旦ぱおに戻る
- ⑤ おやつ終了後、まちともに参加したい児童は、再び相原小に行く
- ⑥ まちともは17時までなので、時間になったらぱおに戻る

【相原小に移転した場合】 全て学校敷地内で完結



- ① 全学童児童は、放課後に同じ校舎内の学童に登所する
- ② 登所後に、学童で過ごすか、まちともに参加するか、児童ごとに選択
- ③ まちともに参加する児童は、校庭等で開催しているまちともに参加
- ④ 15時に一旦部屋に戻り、全員でおやつを食べる
- ⑤ おやつ終了後、まちともに参加したい児童は、再び自由に参加
- ⑥ まちともが終了となる17時に、まちともに参加した児童は部屋に戻る

3 移転場所

関係する各機関と協議を重ねた結果、相原小学校1階の2教室を学童保育クラブの育成室として利用できることになりました。(資料2)

移転後の施設概要

移転後の面積	移転後の定数	2017年4月の66人による、1人あたり面積
約 120㎡	84名	2.13㎡

【資料1】



学童で利用
する教室

